

Joie™

適合基準: ECE R44.04 Group 0+/1

適応体重: 2.5kg から 18kg まで

年齢の目安: 新生児から 4 歳頃まで

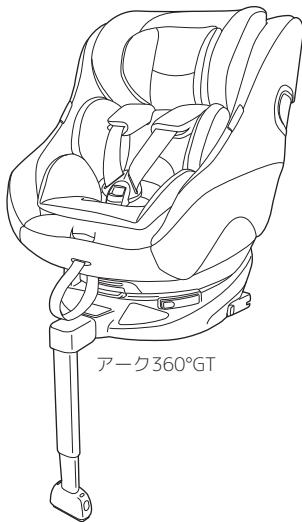
ジョイー・チャイルドシート

Arc360°™ GT

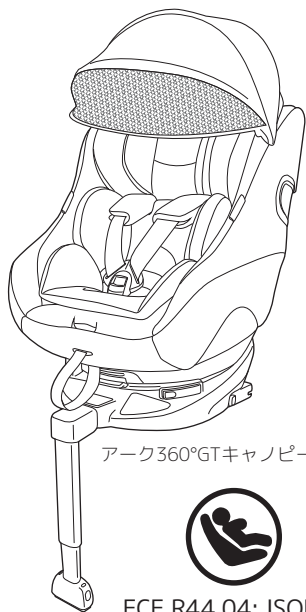
アーク360° GT

アーク360° GT キャノピー付

取扱説明書 / 保証書



アーク360°GT



アーク360°GTキャノピー付



ECE R44.04: ISOFIX

ECE R44.04: A,C,D



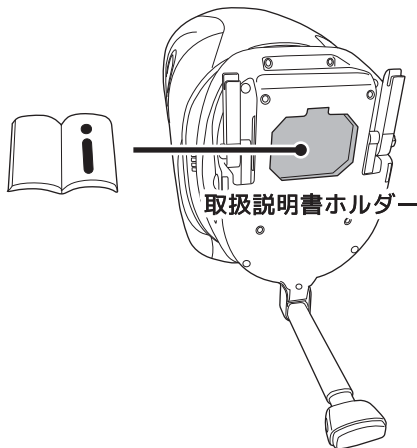
Welcome to Joie™

ジョイー チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	6
本製品の情報	6
表記の説明	7
内容物の確認	8
各部の名称	9
使用できるお子さまの条件	12
キャノピー（※アーク 360° GT キャノピー付タイプのみ）	15
自動車の座席への取り付けに関して	17
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	17
取り付け、使用できない座席	18
使用上の注意事項	21
緊急時の操作	32
基本的な使いかた	33
バックルの使いかた	33
肩ベルトの長さ調節	35
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	37
ソフトパッド	38
自動車の座席への取り付け・取り外し	42
取り付けかた	43
取り外しかた	53
サイドインパクトシールド	56
使いかた	56
座席（シェル）の回転	58
自動車のシートの調整	60
前向きから後ろ向きに回転させる	61
後ろ向きから回転させる	62
リクライニング	66
お子さまの乗せかた	68
後ろ向きでの使用	68
前向きでの使用	76
お手入れのしかた	85
ソフトパッド、カバー、パッドの取り外し	86
ソフトパッド、カバー、パッドのお手入れ	94
シェル、ベース、ISOFIX コネクター、サポートレッグのお手入れ	95
保管のしかた	98
廃棄のしかた	98
保証書	

はじめにお読みください

この度はアーク 360° GT シリーズをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
本製品には「アーク 360° GT」とキャノピー付きの「アーク 360° GT キャノピー付」があります。

⚠危険

正しい向きで使用する

本製品は、本製品の座席（シェル）が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。

お子さまの体重が 9kg 以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きでは絶対に使用しないでください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方もかならずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、自動車の座席の汎用 ISOFIX 固定バーに取り付けますが、全ての汎用 ISOFIX 固定バーに取り付けて使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

汎用 ISOFIX 固定バーを装備した自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE-R44.04 に適合するセミユニバーサル仕様の ISOFIX 対応チャイルドシートです。

自動車の取扱説明書において、質量グループ、サイズ等級の合致するセミユニバーサル仕様チャイルドシートを取り付けて使用可能と指示している場合、原則として本製品が使用できますが、すべての自動車、座席に取り付けて使用できるとは限りません。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

汎用 ISOFIX 固定装置に取り付けて使用すること

本製品は ISOFIX 対応のチャイルドシートです。ECE-R44.04 の規定に従い、汎用 ISOFIX 固定装置を装備した自動車の座席に固定して使用することができます。その他のいかなる方法でも取り付けることはできません。汎用 ISOFIX 固定装置に関しては、自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）を参照してご確認ください。

本製品の取り付けに関して疑問がある場合は、チャイルドシートの製造業者または自動車メーカーに問い合わせてください。

製品の種類 チャイルドシート
主な原材料 樹脂・金属・繊維
パテント番号 特許出願中

適応体重	質量グループ	カテゴリ	サイズ等級
体重 2.5kg から 18kg まで	0+	セミユニバーサル（準汎用）	C,D
体重 9kg から 18kg まで	1	セミユニバーサル（準汎用）	A

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、かならずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

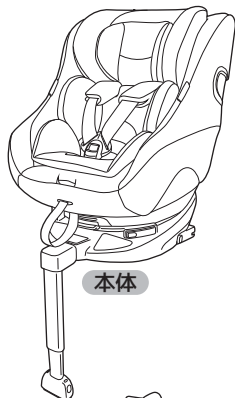
表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

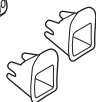
表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

内容物の確認

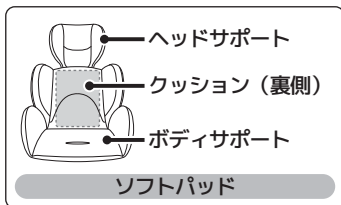
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客サービスまでご連絡ください。



本体



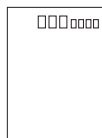
ISOFIX ガイド × 2



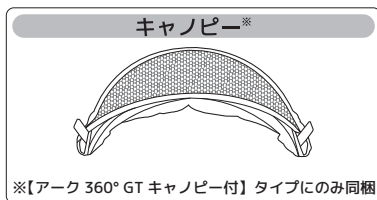
※本体に取り付けられています



本書



ユーザー登録はがき



※【アーク 360° GT キャンピー付】タイプにのみ同梱

⚠ 警告

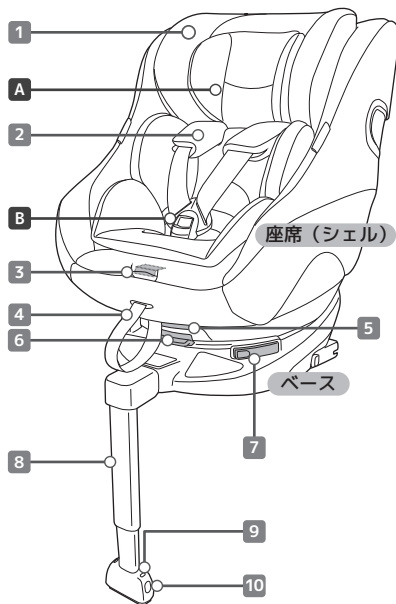
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

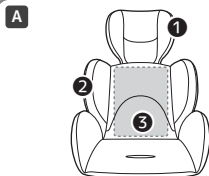
各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

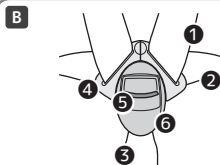


- 1 ヘッドレスト
- 2 肩ベルトパッド
- 3 ベルトアジャスター
- 4 アジャスターベルト
- 5 リクライニングレバー
- 6 回転レバー
- 7 回転ロックレバー
- 8 サポートレッグ
- 9 サポートレッグインジケーター
- 10 サポートレッグアジャストボタン



- 1 ヘッドサポート
- 2 ボディサポート
- 3 クッション

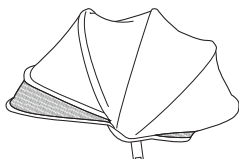
ソフトパッド



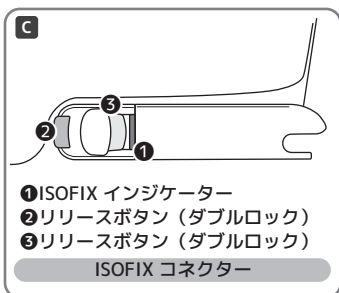
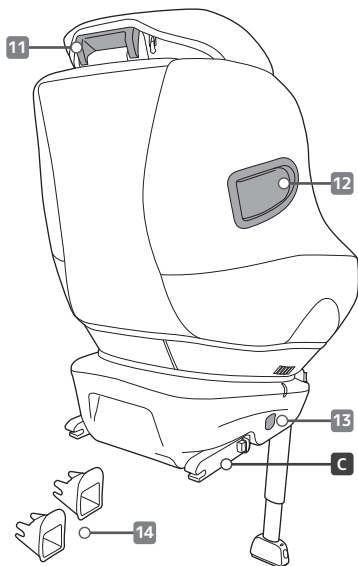
- 1 肩ベルト
- 2 腰ベルト
- 3 股ベルト
- 4 差込みタンク
- 5 バックルボタン
- 6 受けバックル

バックル

キャノピー※



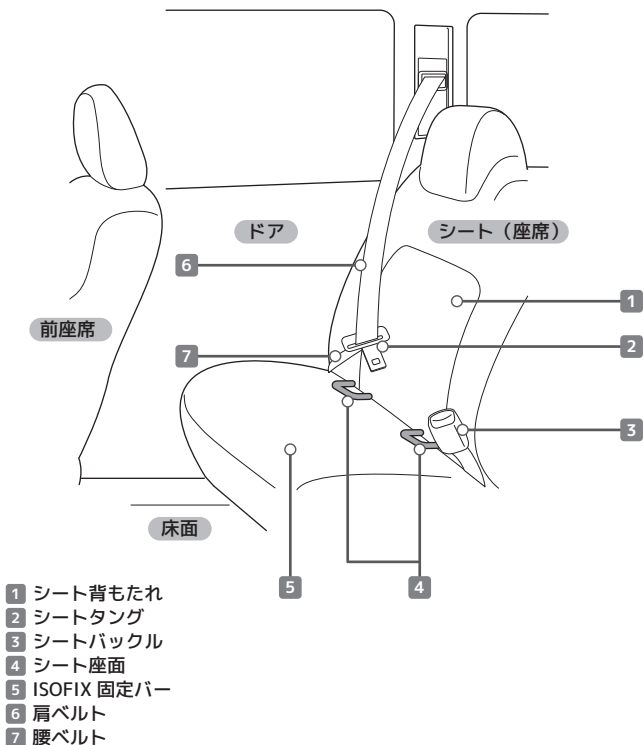
※アーク 360GT キャノピー付タイプにのみ同梱



- 11** ヘッドレストアジャストレバー
- 12** サイドインパクトシールド
- 13** ベースアジャストボタン
- 14** ISOFIX ガイド

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



ポイント！

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE-R44.04（ヨーロッパ統一基準）のセミユニバーサル仕様、Group 0+,1 に適合したチャイルドシートであり、新生児※から体重 18kg までのお子さまにご使用いただけます。

新生児から体重 9kg までのお子さまは、かならず、本製品の座席（シェル）を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。本製品では、体重 18kg まで後ろ向きで 사용할 ことができます。

体重 9kg 以上のお子さまは、本製品の座席（シェル）を前向きにして使用することができます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。



ポイント！

お子さまの体重が 9kg 以上になった場合、お子さまの体格に応じて、また、年齢を目安として使用してください。月齢の低い間は、後ろ向きでの使用をお勧めいたします。

⚠危険

正しい向きで使用するこ

本製品の適合する ECE 基準は、使用可能な期間をお子さまの体重によって規定しています。

お子さまの体重が 9kg になるまでは、前向きでは使用しないでください。

また、目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、本製品を使用してはいけません。

座席（シェル）の向きとリクライニングの角度

体重	座席の向き	リクライニング	ソフトパッド
18kgまで (4歳頃まで)	 後ろ向き	①～⑤使用可能 ただし、お子さまの首がすわる（生後4ヵ月頃）までは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用すること。	生後6ヵ月頃まではすべてのソフトパッドを取り付けて使用すること。それ以降は、お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。
9kgから18kgまで (1歳頃～4歳頃まで)	 前向き	①～⑤使用可能	お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。

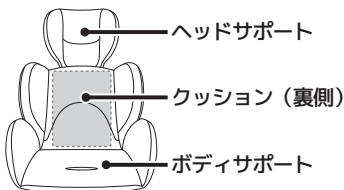


ポイント！

年齢は目安です。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

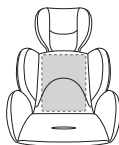
ソフトパッドの使用

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。



●生後6ヵ月頃まで

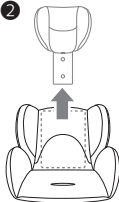
①



生後6ヵ月頃までは、ソフトパッドを全て取り付けた状態で使用してください。

●生後6ヵ月以降

②



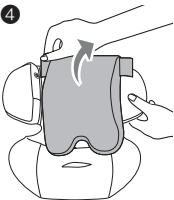
お子さまが成長し、頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して使用してください。

③



お子さまの肩、身体が窮屈な状態になったら、クッションのみの状態で使用することができます。

④



お子さまの身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外したボディサポートのみの状態で使用することができます。

⑤



お子さまの肩幅が広くなり、窮屈な状態になったら、すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。

キャノピー

アーク 360° GT キャノピー付タイプをお買い求めいただいたお客様のパッケージには、お子さまの日よけとして使用するキャノピーが同梱されています。キャノピーは、必要に応じて、取り付け、取り外しすることができます。

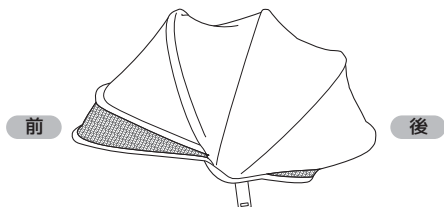
⚠注意

キャノピーを持って本製品を持ち上げないこと

キャノピーはシェルに差し込んで使用します。キャノピーを持って本製品を持ち上げるとキャノピーが外れ、本体が落下します。また、破損の原因になりますので、キャノピーに強い力をかけないでください。

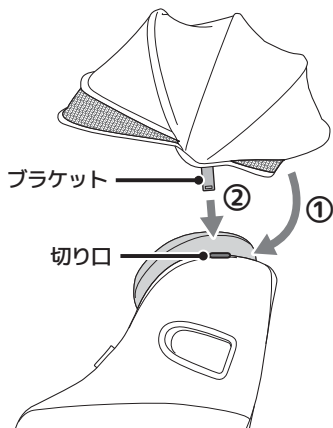
01

キャノピーには前後があります。下図を参照して前後を確認してください。



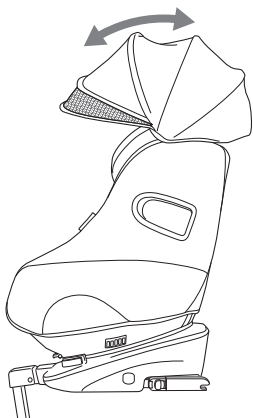
02

①キャノピーの後部のメッシュ部分を、ヘッドレストの上部に掛け、②シェル左右上部の切り口部分に、キャノピーのブラケットを差し入れます。奥までしっかりと差し入れてください。左右とも同じようにしてください。



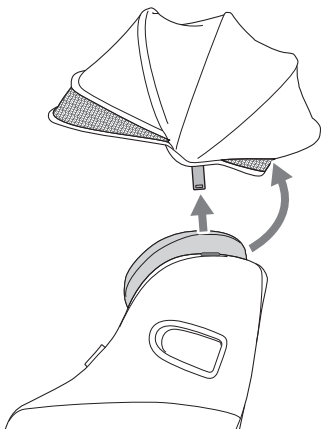
03

キャノピーは、前後に開閉できます。日差しやお子さまの状態に応じて、動かしてください。



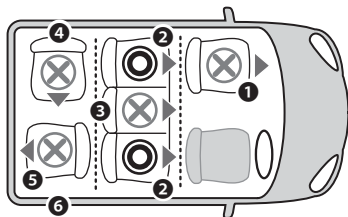
04

取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。



自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き



- | | | |
|--------------------|-------|-----------|
| ① 助手席 | | × 取付・使用不可 |
| ② 2 列目左右ドア側席 | | ○ 取付・使用可能 |
| ③ 2 列目中央席 | | × 取付・使用不可 |
| ④ 進行方向に向かって横向きの座席 | | × 取付・使用不可 |
| ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 | | × 取付・使用不可 |
| ⑥ 3 列目以降の座席 | | × 取付・使用不可 |

⚠ 危険

取り付け条件を守ること

上記のシート（座席）全てに取り付け、使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。

取り付け、使用できない座席

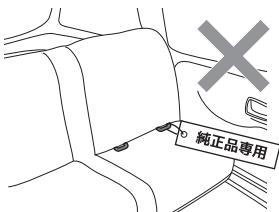
本製品は、全ての自動車、全てのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

汎用 ISOFIX 取り付けバーの装備されていない座席

ISOFIX 取り付けバーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の「汎用 ISOFIX 取り付けバー」が装備された座席でのみ取り付け可能です。お車の取扱説明書をご参照ください。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用できません。特に後ろ向きでの使用時には非常に危険です。

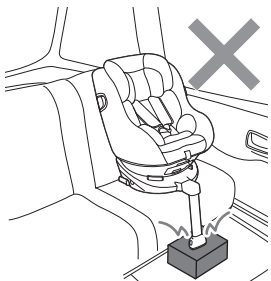


適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。

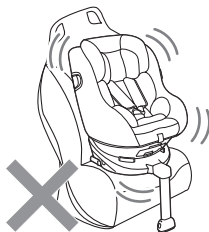


⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、本製品のサポートレッグが接地しない座面の高い座席、本製品のベースが浮く座面の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



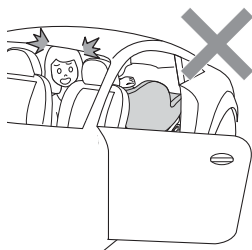
本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時を想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

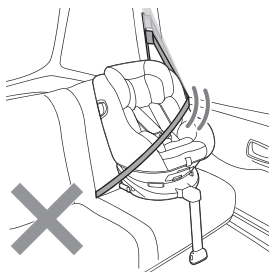


⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

パッシブシートベルトが装備された座席

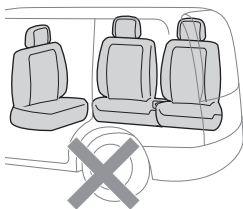
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



進行方向に対して前向き以外の座席

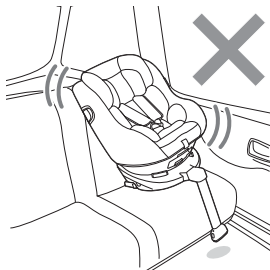
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。



その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け、使用ができない座席では、使用しないでください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

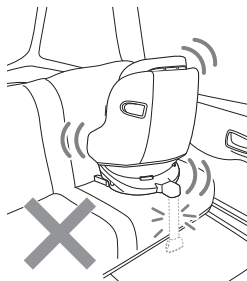
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

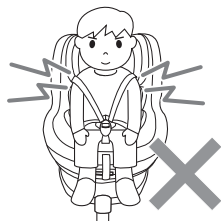
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車のシート（座席）に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの体重の条件が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

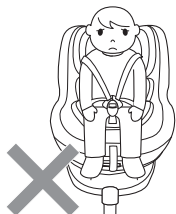


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

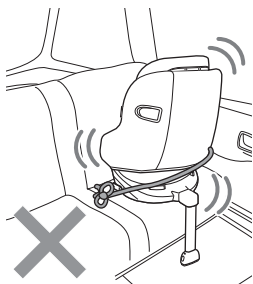
体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまの体重が規定の範囲内でも、お子さまが成長し、チャイルドシートに本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部がチャイルドシートから上にはみ出してしまいう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまいうようになった場合、調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。



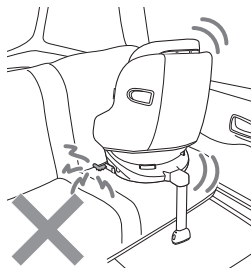
指定する方法以外での取り付けをしないこと

適合する車種の汎用 ISOFIX 固定バーに取り付けて使用します。3 点式、2 点式などのシートベルトの他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。また、本製品を正しく取り付けた上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。また、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、汎用 ISOFIX 固定バーで取り付けした上から、シートベルトやその他の方法で追加して固定することもおやめください。



本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。自動車の座席の汎用 ISOFIX 固定バーや本製品の ISOFIX コネクターに異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。



ハーネスを正しく調節して常に装着すること

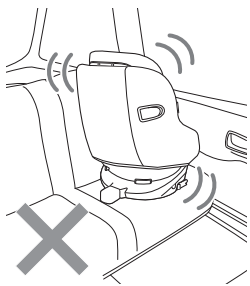
ハーネスは、ねじれがないことを確認して、しっかりとお子さまを固定するように正しく調節して使用してください。本製品にお子さまを乗せる場合はハーネスを正しく調節して常にバックルを留めておくようにしてください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定以外の向きで自動車のシートに取り付け、使用をしないこと

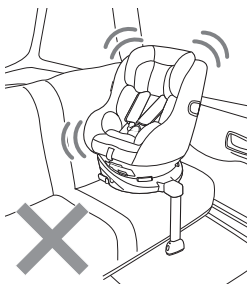
本製品は、ベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。



本製品の座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれか以外の向きで使用しないこと

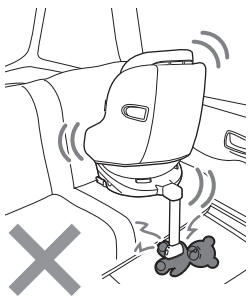
本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能なくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

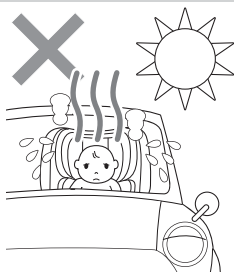


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



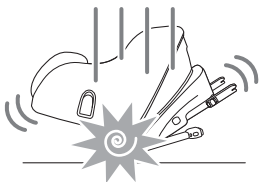
⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

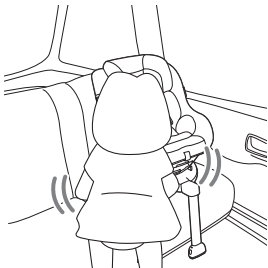
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があり、保証の対象外となります。

このような場合には、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートが正しく固定されているかどうか、また、本製品が正しく自動車の座席に正しく取り付けられているかどうか、かならず確認してください。



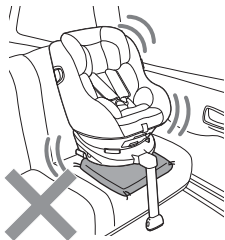
警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

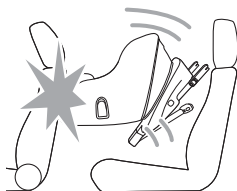
本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付け付けた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



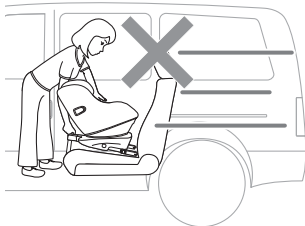
使用しない場合でも、車内では本製品をかならず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車のシートに正しく固定しておいてください。また、正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



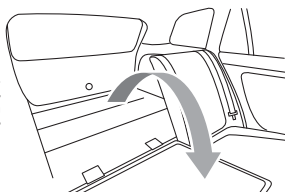
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

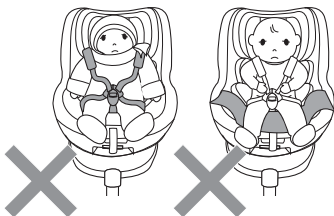
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

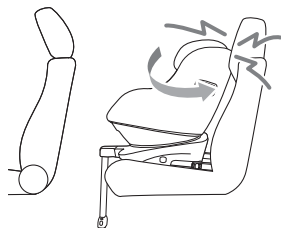
不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない(股ベルトを両足ではさめない)構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



自動車のシートのヘッドレストが干渉して本製品の座席（シェル）が回転できない場合、無理に回転させようとしないこと

シートの種類によっては、前向き使用時にヘッドレストが干渉して本製品の座席（シェル）が回転させられない場合があります。本製品のISOFIX コネクターを調節しても回転しない場合、シートのヘッドレストを調節したり、取り外したりするなどして座席（シェル）を回転できるようにするか、シェルの回転させずに使用するようにしてください。



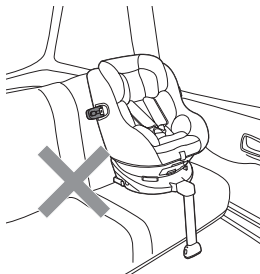
ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バーを清潔に保つこと

ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バーに食べかすや、汚れ、ほこりが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

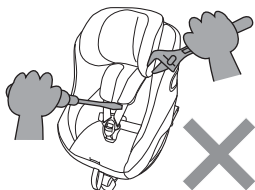
ドアと反対側のサイドインパクトシールドを開かないこと

本製品のシェルには、側面衝突時の衝撃を緩和するためにサイドインパクトシールドが装備されています。サイドインパクトシールドは、ドア側のみ開いて使用します。事故の衝撃により他の乗員に危険をおよぼすおそれがありますので、**ドアと反対側（中央座席側）のサイドインパクトシールドは開かないでください。**また、中央の座席に本製品を取り付ける場合には、サイドインパクトシールドは両方とも開かないでください。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。



過度の負担を掛けないこと

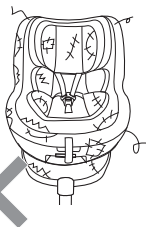
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドシートに重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

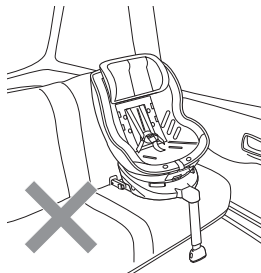
安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

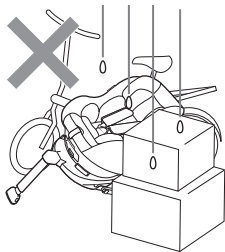
部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



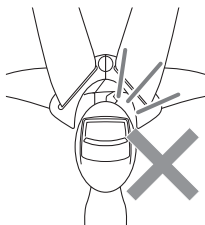
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやバックルボタンに触れたりすると、お子さまが正しくチャイルドシートに固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネスが正しく装着されているかご確認ください。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用するとお子さまが落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

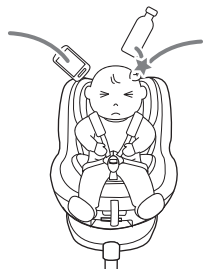


⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

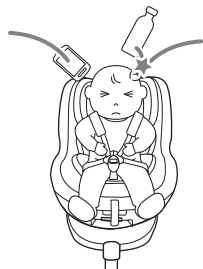


⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

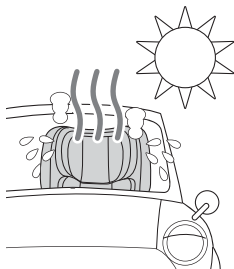
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ハーネスなど、ベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、シェルの生地部分、キャノピーを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。本製品を持つ場合は、サポートレッグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

バックル、ハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、シートに挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、常にバックルを留めておくようにしてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

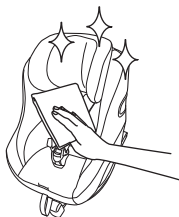
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外し、車外に出して安全な場所で適切に保管してください。

販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



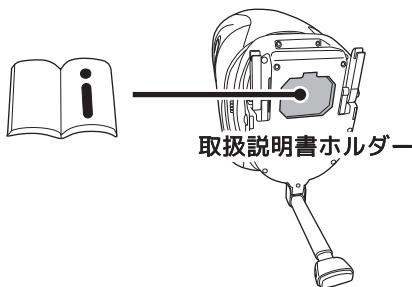
長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

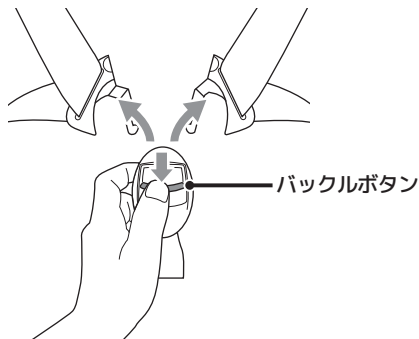
必要なときにいつでも参照できるように、本書は、本体底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。



緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品のISOFIX コネクターを、ISOFIX 固定バーから外して本体ごと脱出させてください。または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



基本的な使いかた

ここでは、後ろ向き使用時、前向き使用時に共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険

お子さまの体重、月齢、体格、に合わせて適切に使用すること
本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの体重、体格、月齢に応じて適切に使用すること。

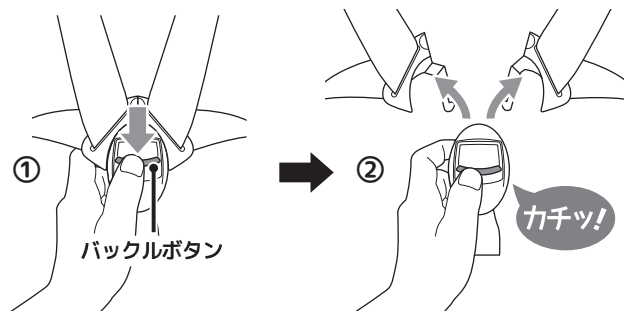
バックルの使いかた

バックルの外しかた

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

01

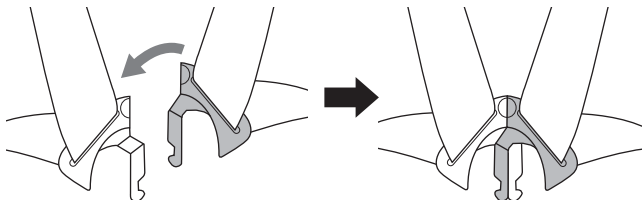
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。



バックルの留めかた

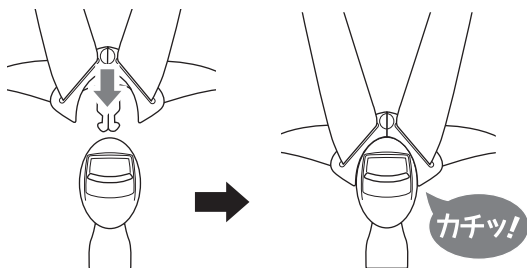
01

左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込タングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント！

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客サービスまでご連絡ください。

注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

肩ベルトの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるよう、肩ベルトの長さを調節します。

危険

肩ベルトの長さは適切に調節すること

肩ベルトは、かならず、適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

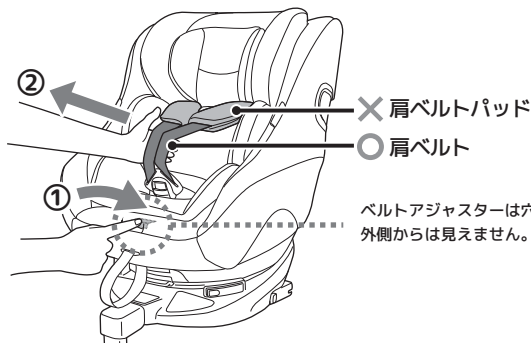
肩ベルトは左右同じ長さに調節すること

左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。かならず左右の肩ベルトを同じ長さに調整してください。

ゆるめかた

01

①シェルの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



締めかた

01

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



⚠ 注意

アジャストベルトはゆっくりと引くこと

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトのは連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

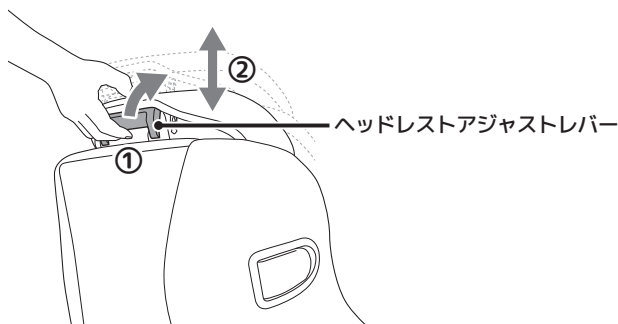
⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、お子さまの体格、月齢に合わせ、かならず、適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

01

①ヘッドレストアジャストレバーを握りながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。



👉ポイント！

ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、後ろ向き使用時、前向き使用時、それぞれ以下を参照してください。

参照 P72 ▶後ろ向きでの使用▶お子さまの乗せかた▶ 07

参照 P80 ▶前向きでの使用▶お子さまの乗せかた▶ 07

ソフトパッド

本製品のソフトパッドには、ヘッドサポートとボディサポート、クッションがあります。

生後6カ月くらいまでのお子さまは、ヘッドサポートとボディサポート、クッションのすべてを取り付けて使用します。

お子さまの成長に合わせて調節します。P14「ソフトパッドの使用」を参照して、適切に調節してください。

参照 P14 ▶使用できるお子さまの条件▶ソフトパッドの使用



ポイント！

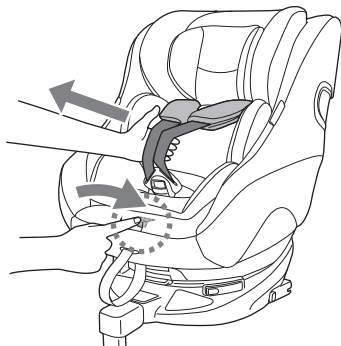
ご購入時には、ヘッドサポートとボディサポート、クッションが取り付けられています。

生後6カ月までのお子さまにすぐにお使いいただけるように調節されています。

取り外し

01

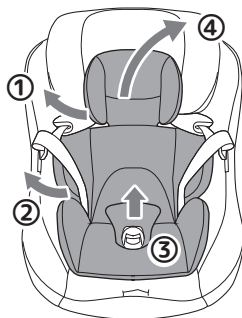
肩ベルトが締められていると、ソフトパッドが取り外しにくくなります。あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

02

①左右の肩ベルト、②左右の腰ベルトをそれぞれソフトパッドのすき間から外し、③受けバックルを通し穴から抜いて、④ソフトパッドを取り外します。



03

バックルを留めます。



注意

ソフトパッドを大切に保管すること

ソフトパッドを調節して使用する場合（以下の項目で記載）も、取り付け、取り外しは同じ手順です。

取り付け

01

取り外しと逆の手順で取り付けます。

取り付け後は、アジャストベルトを引いて、肩ベルトを締めておきます。



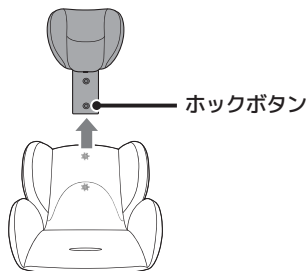
ヘッドサポート

生後 6 カ月以降、お子さまが成長して、頭部が窮屈になったら、ヘッドサポートを取り外します。

01

ヘッドサポートは、ボディサポートの裏側にフックボタン（2 カ所）で取り付けられています。

フックボタンを外して、ヘッドサポートを取り外してください。



02

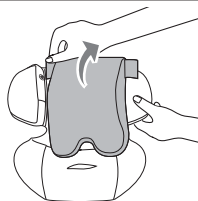
ヘッドサポートを取り付ける場合は、逆の手順で行います。



ポイント！

ヘッドサポートの取り付け時には、ボディサポートのクッションを取り外すと、作業がしやすくなります。

参照 P41 ▶ソフトパッド▶クッション▶01



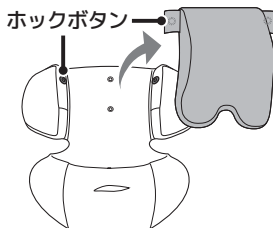
クッション

生後 6 カ月以降、お子さまの身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外して使用することができます。

01

クッションは、ボディサポートの裏側にホックボタン（2 カ所）で取り付けられています。

ホックボタンを外して、クッションを取り外してください。



02

ボディーサポートのみ、座席（シェル）に取り付けます。
取り付け、取り外しの方法はソフトパッドと同様です。

参照 P39 ▶ソフトパッド▶取り付け▶ 01

参照 P38 ▶ソフトパッド▶取り外し▶ 01~03

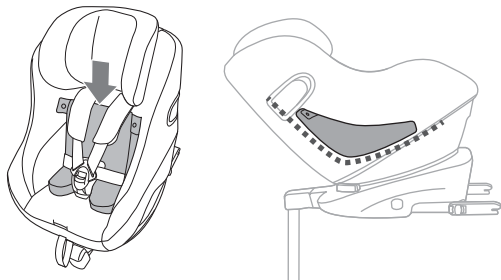
03

クッションの取り付けは、逆の手順で行います。

04

クッションは、単体でも使用可能です。リクライニングの状態や、お子さまの体格などに合わせご使用ください。

クッションを使用するには、ホックボタンがある側を表に、股ベルトを通すU字部分を前にして、座席（シェル）の腰の位置にクッションの角をあわせて乗せてください。



ポイント！

上図のように、シートの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の角を合わせて乗せます。

自動車の座席への取り付け・取り外し

警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

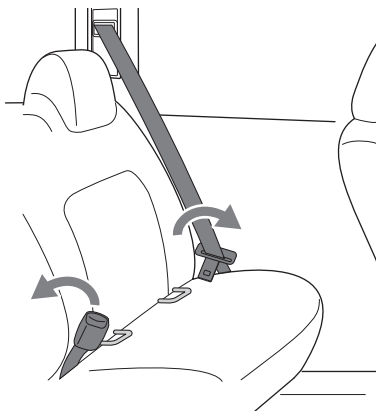
取り付けかた

本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向きどちらの状態でも可能です。ここでは、前向き状態にしての取り付けを図示していますが、後ろ向き状態にしての取り付けも基本的には同じです。

01

本製品を取り付けるシートベルトのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



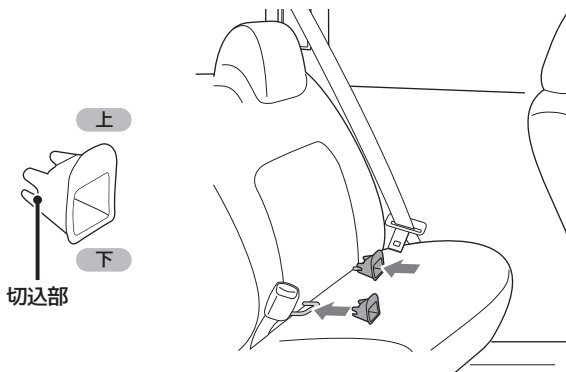
ポイント！

ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



ポイント！

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISO 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

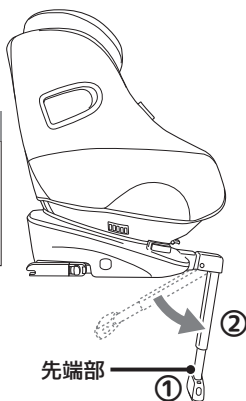
03

①サポートレッグの先端部を手で支えて、②サポートレッグを完全に開きます。

⚠注意

サポートレッグは固定されていません

サポートレッグは閉じた状態で固定されていません。シェルを持ち上げるとサポートレッグが開きますのでご注意ください。

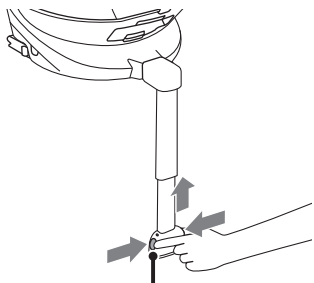


ポイント！

サポートレッグの先端部は、サポートレッグが開くと自動的に引き出されます（自重で下に引き出されるように設計されています）。

以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合は、サポートレッグ先端の左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんでサポートレッグを短くしながら操作してください。

サポートレッグアジャストボタンから手を放すとサポートレッグは自重で下に引き出されますのでご注意ください。

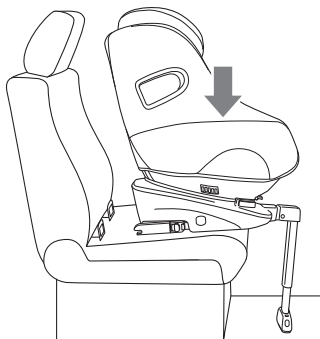


サポートレッグアジャストボタン

参照 P50 ▶取り付けかた▶ 10~11

04

本製品をシート座面に乗せます。



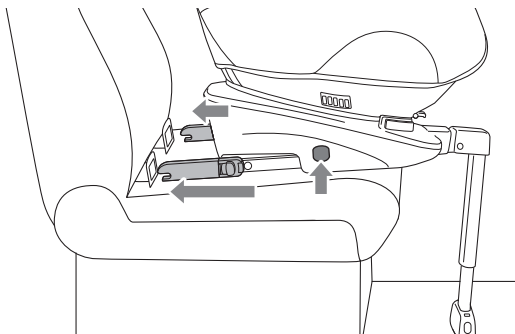
注意

シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは回転させることができます。シェルは前向きまたは後ろ向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めの状態で本製品を持つと、シェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。

05

ベース側面のアジャストボタンを押して ISOFIX コネクターを引き出します。最後まで引き出して固定してください。



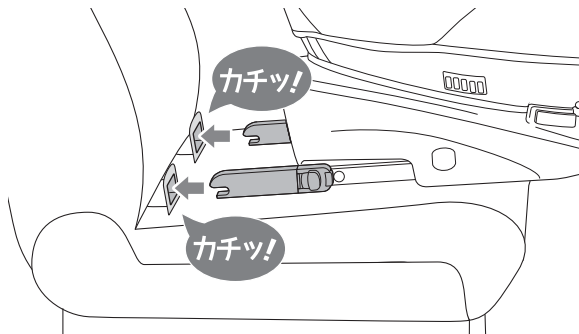
ポイント！

アジャストボタンはベースの左右についています。アジャストボタンと ISOFIX コネクターは左右が連動しています。どちらか一方のアジャストボタンを押すと左右の ISOFIX コネクターが自動的に引き出されます。

アジャストボタンを操作すると、ISOFIX コネクターは自動的に引き出されます。手などにあたらないよう、注意して操作してください。

06

左右の ISOFIX コネクターを、それぞれカチッと音がして ISOFIX 固定バーに固定されるまで ISOFIX ガイドに差し込んでいきます。



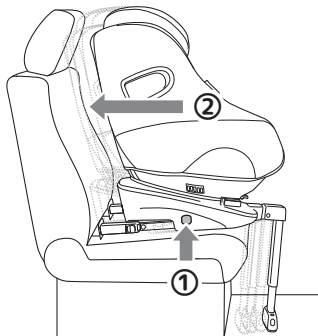
ポイント！

シート生地によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。

その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

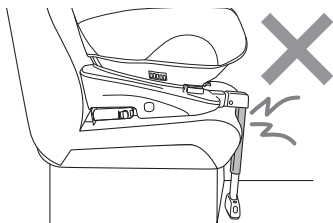
07

①アジャストボタンを押して、②ベースをシート背もたれ側に強く押し付けます。ISOFIX コネクターは10段階で調節することができます。ただしサポートレッグがシート座面の先端側に干渉する場合は、強く押し付けすぎないようにします。



無理に押し込まないこと

サポートレッグがシート座面先端に極端に押し付けられると、ベースがシートから浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなるおそれがあります。サポートレッグとシート座面先端の間にはすき間をあけてください。



👉 ポイント！

自動車のシートのヘッドレストが干渉する場合は、ヘッドレストの角度を調節するか、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せず、トランクの中など安全な場所に収納してください。

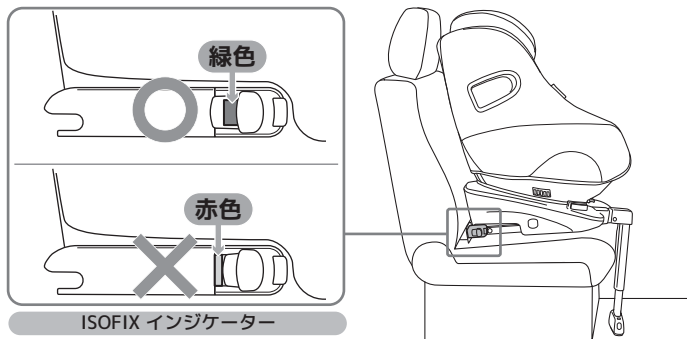
08

本製品を自動車のシート背もたれに押し付けすぎた場合は、アジャストボタンを押して本製品を手前に引き出して位置を調節してください。

09

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。**かならず、左右両方とも確認してください。**

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



⚠危険

ISOFIX コネクタは確実に固定すること

ISOFIX コネクタが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

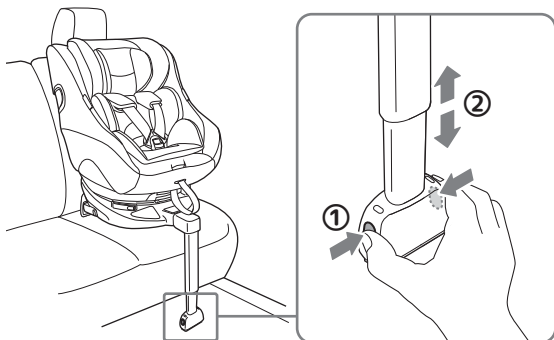
👉ポイント！

ISOFIX コネクタのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

また、ISOFIX コネクタのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。

10

サポートレッグ先端の①サポートレッグアジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを調節してサポートレッグの先端の全体が床面に接するようにします。ベースの先端（サポートレッグ側）がシート座面から浮き上がらないようにご注意ください。

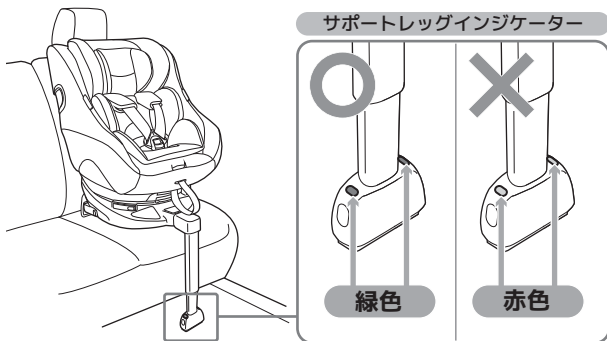


ポイント！

サポートレッグは 12 段階で長さを調節することができます。

11

左右のサポートレッグインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。両方のサポートレッグインジケーターが緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。



⚠ 危険

サポートレッグインジケーターが緑色になっていることを確認すること

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合や赤色が半分以上表示されている場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

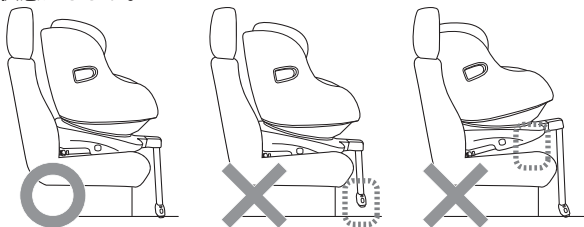
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

⚠ 警告

本製品のベースをシート座面から浮かせないこと

サポートレッグを調節する際に、本製品の底面が座面から浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。

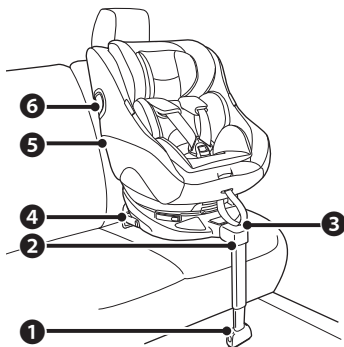


12

念のため、左右の ISOFIX コネク터를手前に引いてしっかりと ISOFIX 固定バーに取り付けられていることを確認してください。

13

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



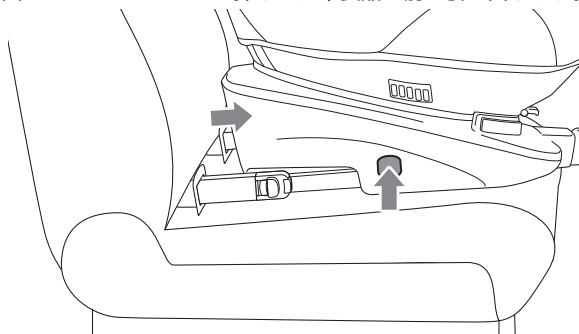
チェックリスト

- ① サポートレッグの先端が床面に接し、サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
サポートレッグの接する床面が安定していること。
また、サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ 本製品の底面がシート座面に接していること。
- ④ ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ⑤ 本製品がしっかりとシート背もたれ側に押し込まれていて ISOFIX コネクターがしっかりと奥まで押し込まれていること。
- ⑥ 中央座席側のサイドインパクトシールドが閉じられていること。

参照 P56 ▶サイドインパクトシールド▶使いかた

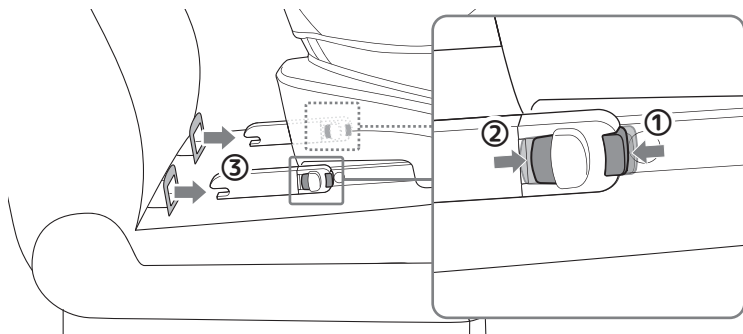
取り外しかた

- 01**
ベース側面のアジャストボタンを押して、本製品を前に引き出します。



- 02**
ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。**左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。**

①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除して、③ ISOFIX 固定バーからベースを抜きます。

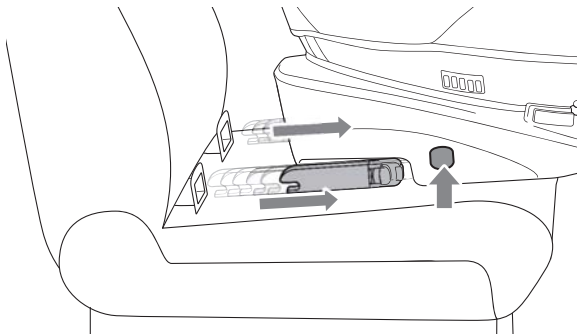


左右同時に操作すること

ISOFIX コネクターは、同時に左右両方操作して取り外します。

03

ベース側面のアジャストボタンを押して、ISOFIX コネクターをベースに収納します。

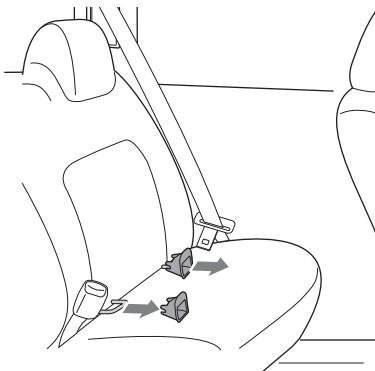


ポイント！

破損を防ぐため、本製品を自動車のシートから取り外した場合は、ISOFIX コネクターはベースに収納するようしておきます。

04

ISOFIX ガイドを取り外します。
ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。



⚠ 注意

ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、かならず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

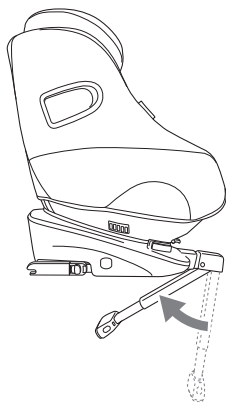
05

自動車から取り出し、サポートレッグをたたみます。

⚠注意

サポートレッグは固定されません

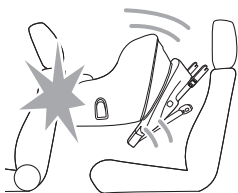
サポートレッグはたたまれた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。



⚠警告

本製品を座席から取り外したらかならず車外に出しておくこと

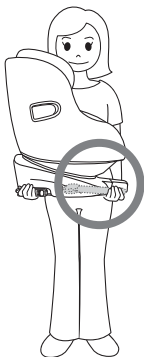
本製品の座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

本製品を持ち運ぶ際には、サポートレッグに手を添えておくこ

サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。

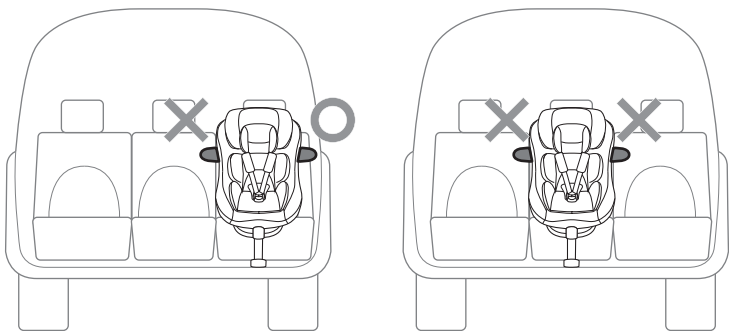


サイドインパクトシールド

本製品のシェルには左右にサイドインパクトシールドが装備されています。サイドインパクトシールドは、事故時などの横からの衝撃を緩和する安全機構です。

使いかた

本製品を取り付けた自動車のシートのドア側のサイドインパクトシールドを、開いて使用します。反対側（中央座席側）は開かないでください。また、中央席に本製品を取り付けた場合は、サイドインパクトシールドは開かないでください。



⚠ 警告

中央席側、中央席の場合は左右とも開かないこと

事故や衝撃を受けた際に、他の乗員がサイドインパクトシールドにあたるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。中央席側のサイドインパクトシールドは閉じておいてください。また、中央席に本製品を取り付けた場合は、サイドインパクトシールドは左右とも開かないでください。

回転時には注意すること

サイドインパクトシールドは、シェルの外側に開いた状態で使用します。本製品のシェルを回転させた場合に、他のシートやシート背もたれ、ドア等に干渉して破損する等のおそれがありますので注意してください。回転時にサイドインパクトシールドが干渉する場合は、**サイドインパクトシールドを閉じてからシェルを回転**させてください。

自動車内のドア等と干渉する場合は使用しないこと

サイドインパクトシールドを開いた場合にドア等と干渉する場合は、サイドインパクトシールドは使用せず閉じておいてください。

開きかた

01

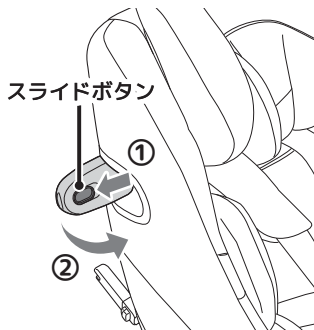
サイドインパクトシールドの先端に指をかけて外側に開きます。カチッと音がしてサイドインパクトシールドが開いた状態で固定されていることを確認してください。



閉じかた

01

①サイドインパクトシールドのスライドボタンを引いて、②サイドインパクトシールドを閉じます。



座席（シェル）の回転

本製品は、シェルが回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。

また、シェルを回転させると、よりスムーズにお子さまの乗せ降ろしができます。前向きから後ろ向き、後ろ向きから前向きの回転では、注意する事柄に異なる部分がありますのでご注意ください。

⚠注意

本製品をシートに取り付けてから回転させること

シェルの回転操作は、シートに取り付けた状態で行います。ベースがシートに固定されていないと、シェルが思わぬ動きをすることがあります。

⚠危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

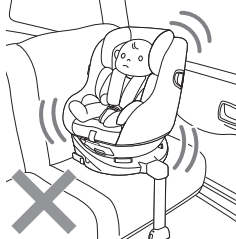
お子さまが、シートベルトに引っかかったり、お子さまの手足がシートと本製品の間に挟まっていたりすると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。



シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、座席（シェル）は、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横など中間位に向けた状態では絶対に使用しないでください。



お子さまの体重により、前向きでの使用には制限があります

使用するシェルの向きは、基準により定められています。使用できるお子さまの条件をかみとってください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件

⚠警告

走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は、安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

可動部に手指を置かないこと

回転するシェルに、手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際は、回転させる方も安全を確認して、可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。



⚠注意

シェルは、常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。自動車の走行中にシェルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

無理に回転させないこと

シートが干渉して、回転できない場合は、無理に回転させないでください。シートが傷ついたり、本製品が破損するおそれがあります。

自動車のシートの調整

本製品を正しく取り付けた状態でスムーズにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。

シェルの回転時に、シートの背もたれやシートのヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。

その場合、以下のように対応してください。

●ヘッドレストと干渉する場合

シートのヘッドレストを取り外してください。

この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かず、かならず自動車のトランクなど安全な場所で保管するようにしてください。

●ヘッドレストが外せない場合

●シートの背もたれと干渉する場合

ISOFIX コネクターを操作して、本製品をシートから少し離してから回転させてください。

回転後、アジャストボタンを操作して、本製品をシート背もたれに押し込んでください。

参照 P46 ▶取り付けかた▶ 05

参照 P47 ▶取り付けかた▶ 07



ポイント！

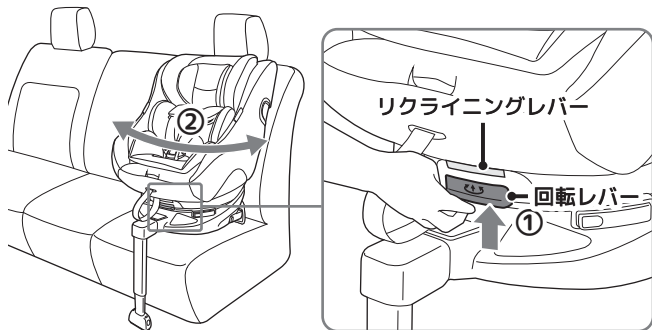
この操作を繰り返すと、シート座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。

前向きから後ろ向きに回転させる

01

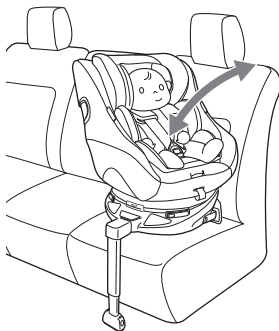
①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右、どちらにも回転します。

回転レバーの上に、リクライニングレバーがありますので、間違わないように注意してください。



02

お子さまを乗せ降ろしする場合は、ドア側に横向きにします。横向きではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。



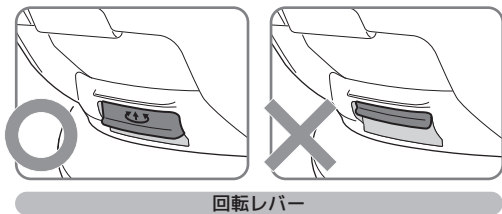
03

そのまま、後ろ向きになるまで回転させるとカチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。



04

回転レバーが上がったままの状態では、シェルは固定されていません。回転レバーが下がっていることを確認してください。



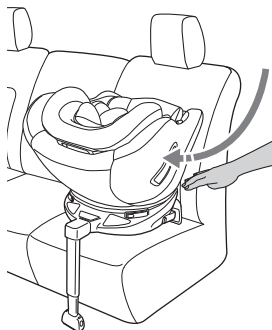
後ろ向きから回転させる

後ろ向きから前向きへの回転の場合、シートの背もたれと本製品のすき間に手を差し入れて操作します。

狭い空間に手を差し入れるので、ケガしないように注意して操作してください。前向きから回転させる場合と異なり、安全のために回転が途中で止まる構造になっています。

01

シェルとシートの背もたれの間に、横側から手を差し入れます。

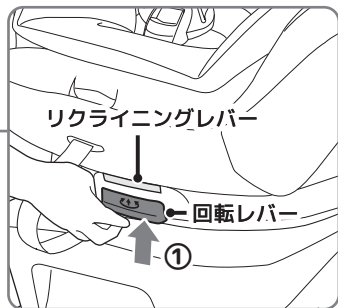
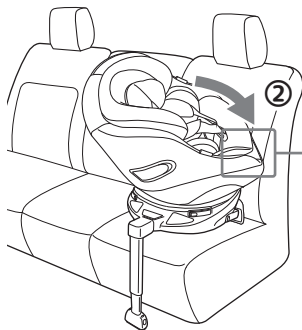


02

①回転レバーを押し上げて、②シェルを少しだけ回転させます。

シェルは左右、どちらにも回転します。

回転レバーの上に、リクライニングレバーがありますので、間違わないように注意してください。



03

回転レバーから手を離して、すき間から手を抜いてシェルを回転させます。



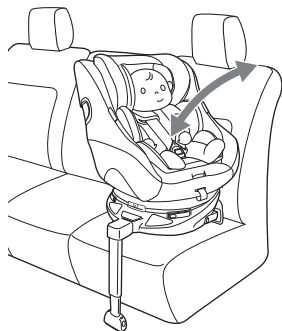
注意

すき間に手を入れたまま回転させないこと

手がシェルとシートの背もたれに挟まれてケガをするおそれがあります。

04

お子さまを乗せ降ろしする場合は、ドア側に横向きにします。横向きではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。



05

後ろ向きからの回転の場合、前向きに変更する場合など、**一定量以上回転させると途中でロックされて回転が一旦止まる構造**になっています。

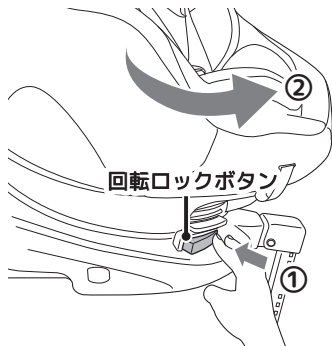
①回転ロックレバーを押して、②回転操作を続けてください。

回転ロックレバーは、ベースの左右についています。回転させる方向にある回転ロックレバーを操作します。



ポイント！

前向きからの回転の場合は途中でロックしません。



⚠危険

お子さまの体重が 9kg を超えるまでは後ろ向きでのみ使用可能

お子さまの体重が 9kg を超えるまでは前向きで使用することはできません。安全のため、後ろ向きから、前向きに回転させる場合は途中でロックされる構造になっています。

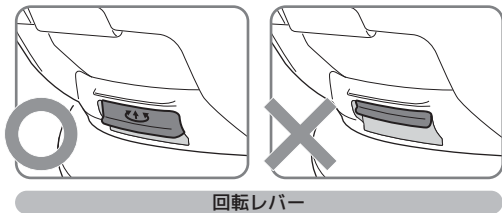
06

そのまま、前向きになるまで回転させるとカチッと音がしてシェルが前向きで固定されます。



07

回転レバーが上がったままの状態では、シェルは固定されていません。回転レバーが下がっていることを確認してください。



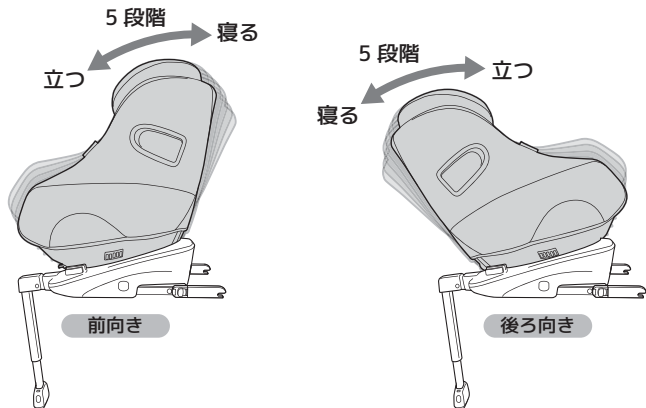
リクライニング

本製品には、シェルの角度を変えるリクライニング機構が装備されています。

リクライニングは、5段階で調節可能です。

後ろ向き、前向きとも5段階で調節して使用することができます。

お子さまの月齢が低い間(お子さまの首がすわる4ヵ月頃くらいまで-後ろ向き)は、リクライニングを最も寝かせた状態にして使用してください。



⚠危険

お子さまの首がすわるまで(生後4ヵ月頃)までは、最も寝かせた状態で使用すること

お子さまの月齢が低い間、特に首がすわるまでの間は(およそ生後4ヵ月頃)、お子さまの姿勢を立てた状態にすると首が倒れて気道を圧迫し、呼吸に影響を与えるおそれがありますので、シェルは後ろ向きにしてリクライニングを最も寝かせた状態にして使用してください。

お子さまの首がすわった後でも、月齢の低い間は様子を確認して、リクライニングを調節するようにしてください。

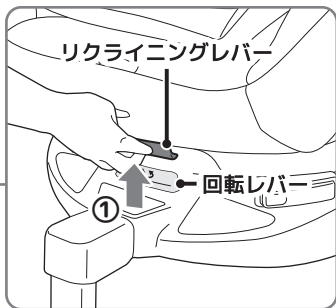
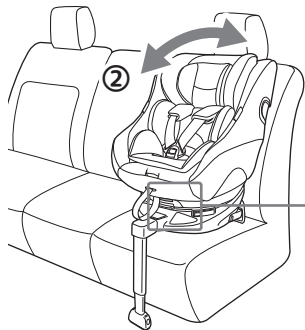


01

①リクライニングレバーを押し上げて、②シェルの角度を調節します。
リクライニングレバーの下に、回転レバーがありますので、間違わないように注意してください。

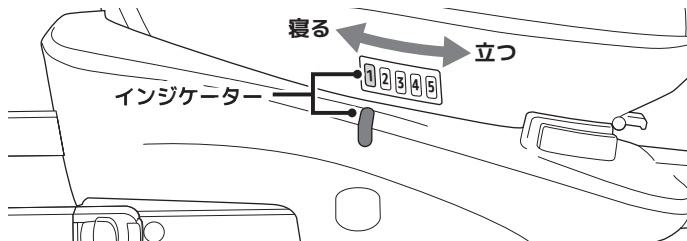
リクライニングの操作を行った場合、**サポートレッグの状態をかならず再確認**するようにしてください。

参照 P50 ▶取り付けかた▶ 11



👉ポイント！

リクライニングの段階は、シェルとベースのインジケーターで確認できます。
1～5の段階で調節が可能で、前向き使用時、後ろ向き使用時いずれの場合も数字が少ないほどリクライニングは寝た状態になり、数字が大きいくほど立った状態になります。



お子さまの乗せかた

本製品には、シェルの角度を変えるリクライニング機構が装備されています。リクライニングは、5段階で調節可能です。後ろ向き、前向きとも5段階で調節して使用することができます。お子さまの月齢が低い間(お子さまの首がすわる4カ月頃くらいまで-後ろ向き)は、リクライニングを最も寝かせた状態にして使用してください。

⚠危険

正しい向きで使用する

お子さまの体重が9kg以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。

⚠警告

本製品をシートに取り付けてからお子さまを乗せること

お子さまを乗せたまま本製品を取り付けしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

後ろ向きでの使用

お子さまの体重が9kgになるまでは、後ろ向きのみで使用可能です。お子さまの体格が合えば、体重18kg(4歳頃)まで後ろ向きで使用可能です。お子さまの体重が9kgを超えて、お子さまの足が自動車のシートの背もたれに接するようになったら、前向きにして使用してください。

準備

01

お子さまの月齢、体格に合わせてソフトパッドを調節します。

参照 P14 ▶使用できるお子さまの条件▶ソフトパッドの使用

参照 P38 ▶ソフトパッド



ポイント！

生後6カ月頃までは、すべてのソフトパッド(ヘッドサポート・ボディサポート・クッション)を取り付けた状態で使用してください。

02

本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

参照 P52 ▶取り付けかた▶ 12

03

お子さまの月齢が低い場合（お子さまの首がすわるまで）は、リクライニングの角度を最も寝かせた状態にしておいてください。

参照 P66 ▶リクライニング

04

左右のシートに取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。中央席に取り付けた場合は両方の、左右席の場合は中央席側のサイドインパクトシールドは開かないようにしてください。

参照 P56 ▶サイドインパクトシールド

お子さまの乗せかた

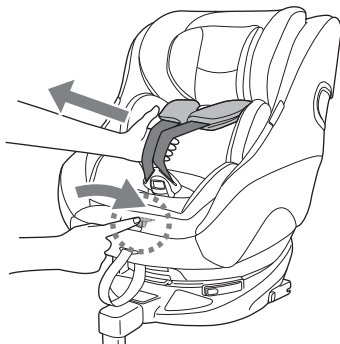
01

必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P58 ▶座席（シェル）の回転

02

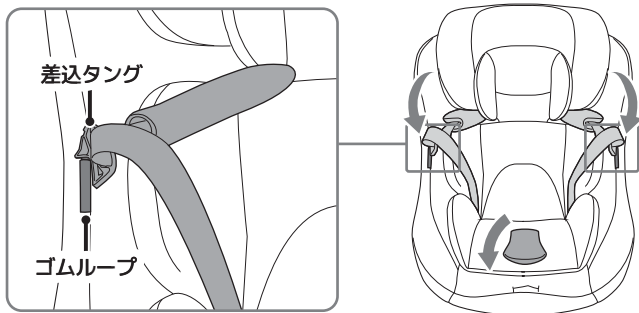
あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、あらかじめバックルを外し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれゴムループに差し込んでおきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



ポイント！

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

⚠危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

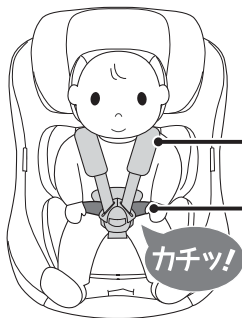
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

肩ベルトをゴムループから外して、お子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、**腰ベルトが**
お子さまの骨盤の上を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



肩ベルトにお子さまの腕を通す

腰ベルトを骨盤の上に通す

警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

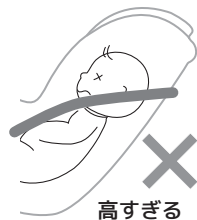
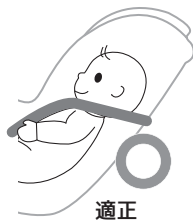
ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。

肩ベルトの高さは6段階で調節可能です。段階の中間位にお子さまの肩がある場合は、お子さまの肩の高さに最も近くかつお子さまの肩の位置より低い段階に調節します。



参照 P37 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。

また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

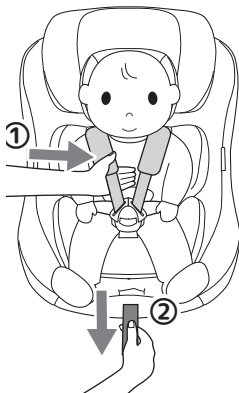
⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけます。



👉ポイント！

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。かならず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

09

シェルを後ろ向きに回転させて、固定します。

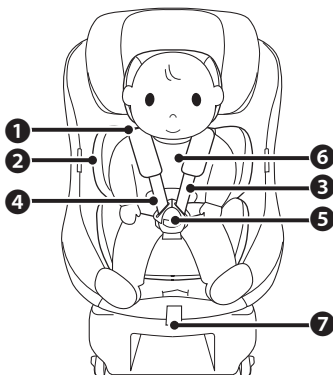


参照 P61 ▶前向きから後ろ向きに回転させる▶ 01~04

10

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。

正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ② ソフトパッドが正しく取り付けられていること（生後 6 カ月頃まではすべてのソフトパッドを取り付けて使用します）
- ③ ハーネスが適正に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと。腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること（お子さまの首がすわる生後 4 カ月頃までは最も寝かせた状態にして使用します）

11

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。
バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

12

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

前向きでの使用

お子さまの体重が 9kg を超えたら（1 歳頃）、シェルを前向きにして使用することができます。

体重 18kg（4 歳頃）まで使用することができます。

体格が合えば、体重 18kg まで後ろ向きでも使用することができます。

危険

体重が 9kg を超えるまでは、後ろ向きで使用する

前向きにしての使用は、体重が 9kg を超えてからのみ可能です。体重が 9kg を超えるまではかならず後ろ向きにして使用してください。

準備

01

本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

参照 P52 ▶取り付けかた▶ 12

02

左右のシートに取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。中央席に取り付けた場合は両方の、左右席の場合は中央席側のサイドインパクトシールドは開かないようにしてください。

参照 P56 ▶サイドインパクトシールド

お子さまの乗せかた

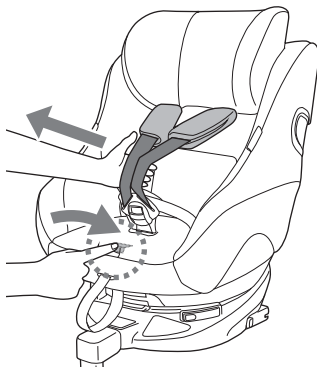
01

必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P58 ▶座席（シェル）の回転

02

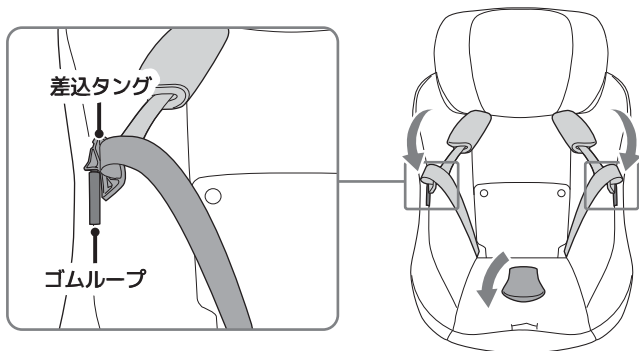
あらかじめ肩ベルトをゆるめておきます。



参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

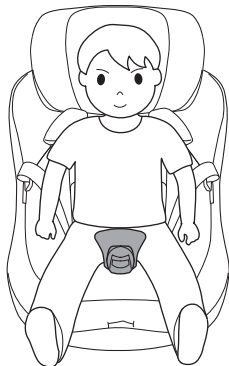
03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、あらかじめバックルを外し、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれゴムループに差し込んでおきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



ポイント！

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

⚠危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

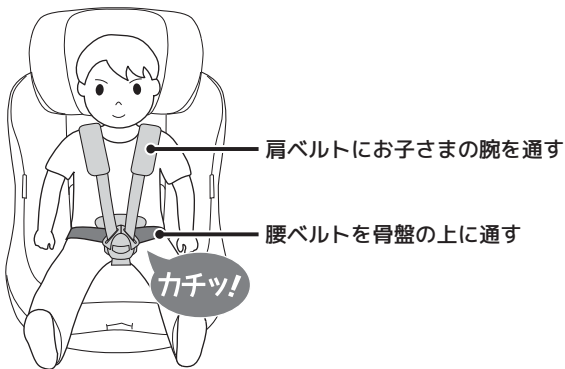
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。かならずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

肩ベルトをゴムループから外して、お子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトににねじれがないことを確認して、**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通る**ようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

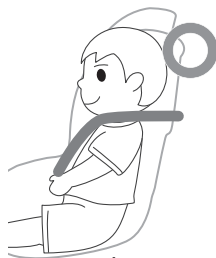
ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。

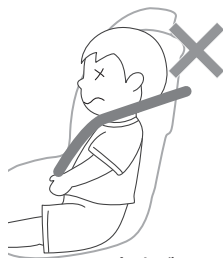
肩ベルトの高さは6段階で調節可能です。段階の中間位にお子さまの肩がある場合は、お子さまの肩の高さに最も近くかつお子さまの肩の位置より高い段階に調節します。



適正



低すぎる



高すぎる

参照 P37 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。
また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

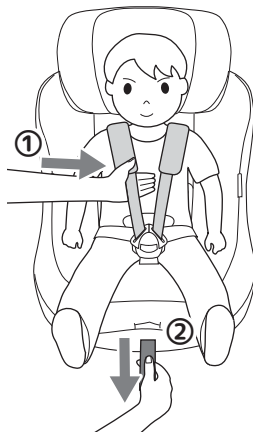
やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけます。

肩ベルトとお子さまの身体の間に掌が差し込める程度が適切な状態です。



ポイント！

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間挟まれるまで締め付けるようにします。

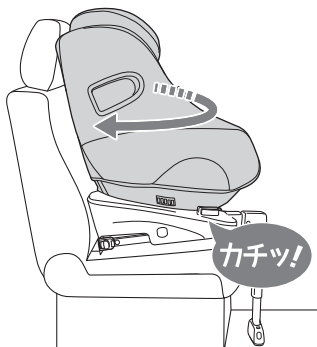
締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P36 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

09

シェルを前向きに回転させて、固定します。

後ろ向きの状態から回転させる場合は、途中でロックされますので、回転ロックボタンを押してロックを解除して回転させてください。



参照 P61 ▶前向きから後ろ向きに回転させる▶01~04

参照 P63 ▶後ろ向きから回転させる▶01~07

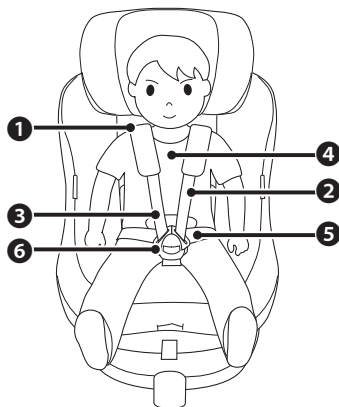
ポイント！

本製品は、お子さまの体重が18kgになるまで使用することができます。
お子さまの体重が9kgを超えたら、前向きにして使用することができます。
お子さまの体格が合えば、18kgまで後ろ向きでも使用できますが、お子さまの足がシートの背もたれにあたるようになったら、前向きにして使用してください。

10

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。

正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

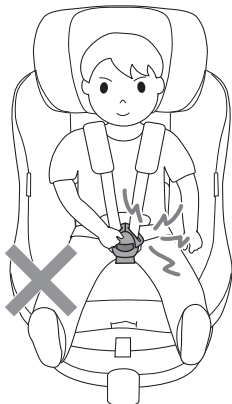


チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ② ハーネスが適正に締め付けられていること
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
- ④ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑤ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑥ バックルがしっかりと留まっていること

11

お子さまに、バックルを触らないよう言い聞かせてください。



⚠危険

バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいよう、操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると、自ら外してしまうおそれがあります。本製品使用中は、バックルに触れないよう、バックルを外さないよう、普段から言い聞かせてください。

12

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

⚠警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

13

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

お手入れのしかた

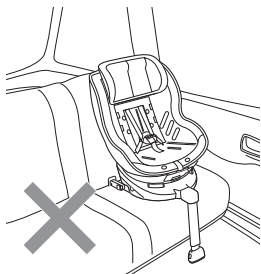
本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類をかならず元に戻してください。

⚠警告

部品を取り外した状態で使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、お手入れ時も含め、決して取り外した状態で使用しないでください。また、同様に、チャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

ソフトパッド、カバー、パッドの取り外し

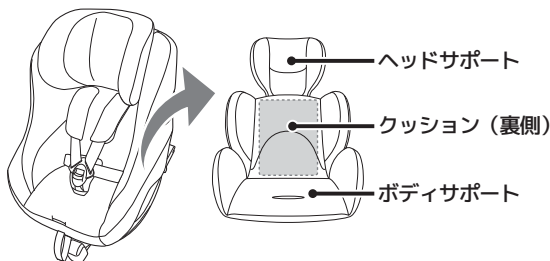
ポイント！

取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に、各作業をデジタルカメラや、携帯電話、スマートホンなどで写真を撮っておくと便利です。

ソフトパッド

01

ソフトパッドを取り付けて使用している場合は、ソフトパッドを取り外してください。



参照 P38 ▶ソフトパッド▶取り外し▶ 01~03

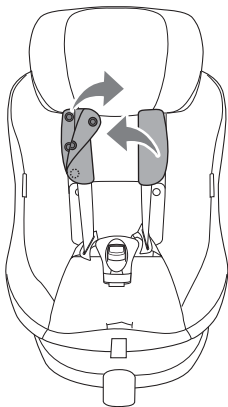
肩ベルトパッド・カバー

01

あらかじめ、バックルを外しておきます。

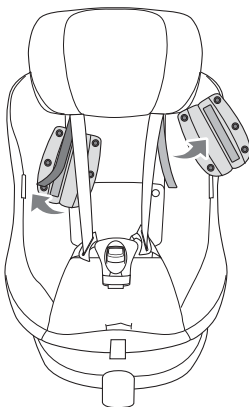
02

肩ベルトパッドのホックボタンを外します。左右とも外してください。



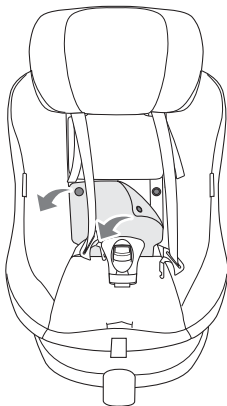
03

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側（裏側）にあるベルトを留めている面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも取り外してください。



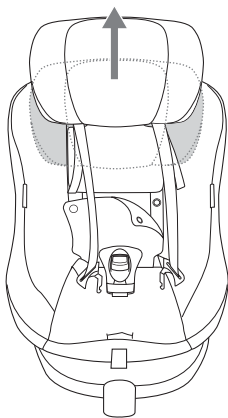
04

シェルの背もたれの部分のホックボタン（左右 2 カ所）を取り外します。



05

ヘッドレストを最も高い位置まで上げます。



参照 P37 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

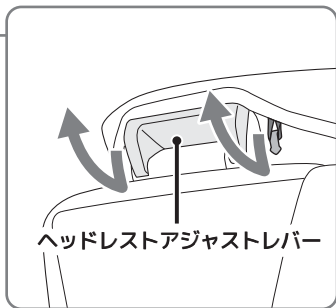
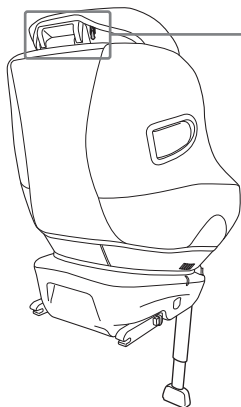


ポイント！

ヘッドレストを上げないと、ヘッドレストのカバーの取り外しが困難です。

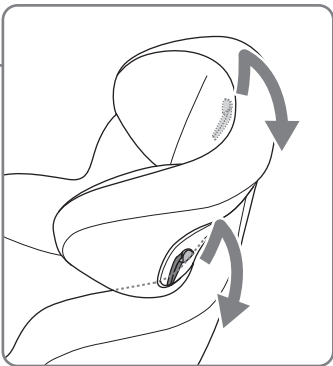
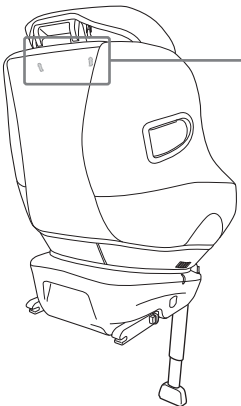
06

ヘッドレスト背面上部の2か所（ヘッドレストアジャストレバーの左右）のフックに掛けられているヘッドレストのカバーのゴムを取り外します。



07

ヘッドレストの左右外側とシェルとの間に手を入れ、ヘッドレスト背面下部のフックに掛けられているヘッドレストのカバーのゴムを取り外します。左右とも取り外してください。

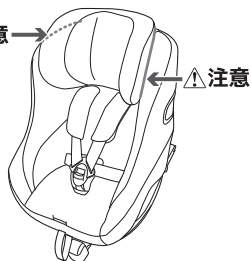


⚠ 注意

注意して作業してください

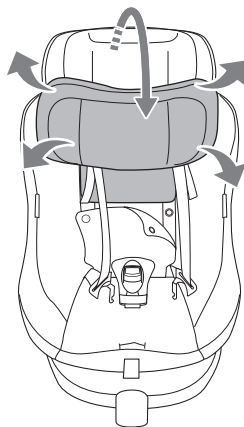
ヘッドレスト外側左右と、シェルの間は狭くなっています。手や指をケガしないよう注意して、手を差し入れてゴムを取り外してください。

⚠ 注意



08

ヘッドレスト部のカバーをゆっくりと取り外します。まだ、ヘッドレストのカバー全体は取り外せません。ここでは、ヘッドレスト部のカバーのみ取り外します。



⚠ 注意

ゆっくりと作業してください

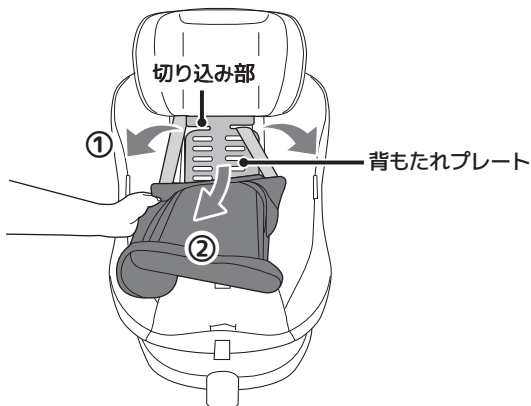
ヘッドレストのカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、4 か所すべてのゴムが外れているか確認するようにしてください。

またヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

09

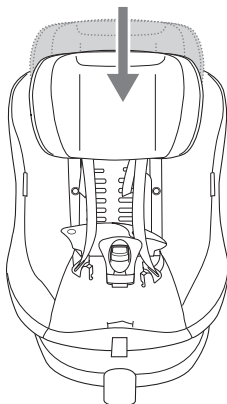
ヘッドレストのカバーの下部は、ヘッドレスト下部のシェルの背もたれプレートに差し込まれています。

①肩ベルトを切り込み部から外し、②カバーの背もたれ部を下方方向に抜いて、ヘッドレストのカバーを取り外します。



10

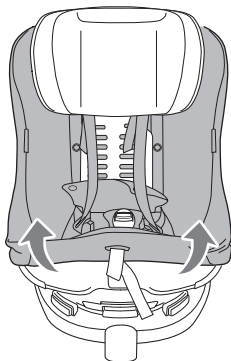
ヘッドレストを最も低い位置まで下げます。



参照 P37 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

11

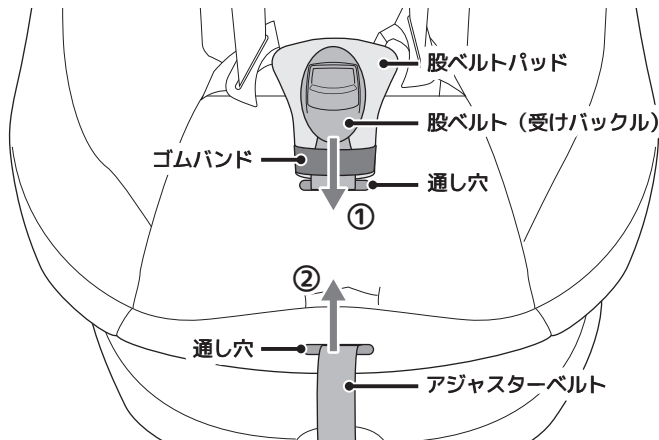
シェルのカバーの先端をシェルから外します。



12

股ベルト（受けバックル）は、シェルの座面部分に固定されていて、シェルのカバーの股ベルトパッドにゴムバンドで留められています。

- ①股ベルトを股ベルトパッドから抜いてシェルのカバーの通し穴から抜き取り、
- ②アジャスターベルトを通し穴から抜き取ります。



ポイント！

シェルのカバーを取り付ける際には、忘れずに股ベルトをゴムバンドに通してください。

13

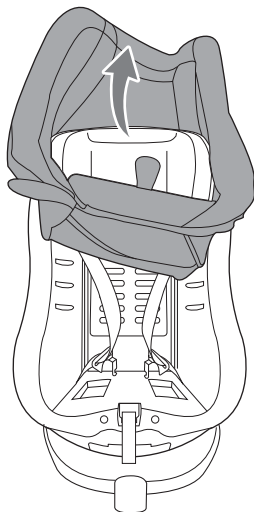
ゆっくりとシェルのカバーを、上方向に抜き取ります。

⚠ 注意

ゆっくりと作業してください

ヘッドレストのカバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか、4か所すべてのゴムが外れているか確認するようにしてください。

またヘッドレストに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。



14

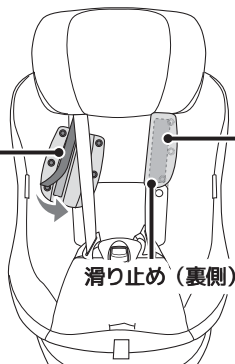
肩ベルトパッド・カバー類の取り付けは、逆の手順で行ってください。

👉 ポイント！

肩ベルトパッドには左右があります。ホックボタンのない側をお子さまの身体側にしてください。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトの下側にあるベルトに留めてください。

面ファスナーの位置
を合わせて留めます



ホックボタンがない
側、滑り止めの付い
ている側をお子さま
の身体側にします

ソフトパッド、カバー、パッドのお手入れ

取り外した、ソフトパッド、カバー、パッドは、以下の表示に従ってお手入れしてください。

⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッド、カバー、パッドを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

ソフトパッドのクッションは洗濯できません

ソフトパッドのクッションは、洗濯することができません。水に浸さないでください。変形、変質するおそれがあります。ブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



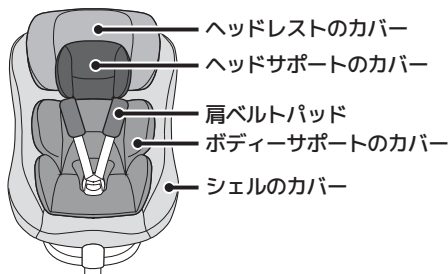
ボディサポート ヘッドサポート ヘッドレストのカバー シェルのカバー パッド

01

30℃以下の水で手洗いしてください。

軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

よく乾いてから取り付けしてください。



👉ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。



注意

洗濯機は使用しないでください

破損、変形の原因となります。

重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

アイロンは使用しないでください

破損、縮みの原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

ソフトパッドのクッション

キャノピー※

※アーク 360° GT キャノピー付タイプのみ

洗濯することができません。水に浸さないでください。変形、変質するおそれがあります。ブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

シェル、ベース、ISOFIX コネクター、サポートレッグのお手入れ



危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

樹脂部分

01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
洗剤類は使用しないでください。

注意

ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

ISOFIX コネクター サポートレッグ

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

他の部位のお手入れにおいても、潤滑剤は使用できませんが、特に、ISOFIX コネクター、サポートレッグに潤滑剤を使用すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。



ポイント！

ISOFIX コネクターおよび、自動車の ISOFIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

金属部分

01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
バックルおよび ISOFIX コネクターを除く金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス（ベルト類）

01

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターベルトは、取り外しできません。
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

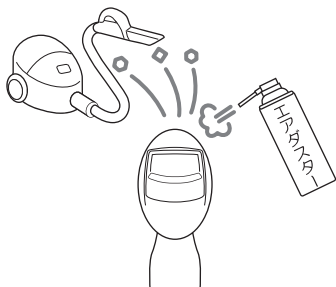
バックル（受けバックル、差込みタング）

01

バックル類は、取り外しできません。
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

02

バックル類は、取り外しできません。
受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

.....

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

.....

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

.....

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com